

第1回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事録

●日 時：平成30年9月28日（金） 13：30～15：50

●場 所：土浦市役所3階 庁議室

●出席者：

[有識者会議委員（15名）]

大澤委員長、佐野副委員長、海老原委員、眞山委員、富田委員、完賀委員、原田委員、伊東委員、松山委員、菅谷委員、橋本委員、鬼澤委員、山田委員、澤田委員、山岸委員

[土浦市（12名）]

中川市長、五頭副市長、井坂教育長、船沢市長公室長、望月総務部長、小松澤市民生活部長、川村保健福祉部長、塚本都市産業部長、柴沼建設部長、飯村消防長、[教育部長代理出席] 元川学務課長、佐賀文化生涯学習課長

●事務局：山口政策企画課長、渡邊政策員、小川政策員、藤田主任、峰主幹

●配布資料：

資料1 第2期 土浦市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定について（案）

資料2 土浦市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」実施状況報告書（案）
（平成27年度～平成29年度実施事業分）

資料3 第2期「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定に向けた土浦市の人口動向分析・将来人口推計（素案）

参考資料 土浦市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」各戦略分野の実施状況一覧
（平成27年度～平成29年度実施事業分）

1. 開会

2. 市長あいさつ

- ・我が国を取り巻く社会環境が少子高齢化等の急激な進行に伴い、産業構造・就業構造など大きく変化している中、国では「一億総活躍社会」の実現に向けた取組を進めている。
- ・本市でも、平成27年10月に土浦市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定し、本市の持続的な発展に向けて、全庁を挙げて取り組んでいる。
- ・また、平成30年度から平成39年度までの10年間を計画期間とする『第8次土浦市総合計画』を新たに策定し、計画に基づく各種事業、特に人口減少を抑制し、人口構造の若返りを図る施策を実施することによって、平成39年の将来目標人口については、134,000人を目指すこととしている。
- ・この度は、平成27年度に策定した第1期計画の計画期間が平成31年度で終了することから、第2期土浦市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」を新たに策定したい。

- ・第1回目の会議として、第2期計画の策定について説明させていただいた上で、第1期「総合戦略」の進捗状況及び第2期「人口ビジョン」の策定に向けた素案について、今後、改めて本市の将来の目標人口を設定するとともに、目標人口に向け、本市の実情・課題を捉え、更に実効性のある第2期計画を策定するために、委員の皆様の専門的見地から忌憚のない意見を伺いたい。

3. 委員長及び副委員長選出

(1) 委員紹介

===事務局より各委員の名前を読み上げ紹介===

(2) まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱

===事務局より設置要綱概要を説明===

(3) 委員長及び副委員長選出

- ・委員より、議長一任の声あり。
- ・中川市長より、委員長として大澤委員、副委員長として佐野委員を推薦。
- ・満場一致で承認。

(4) 委員長挨拶

- ・ポイントは、①今後も継続する計画のPDCAサイクルの検証、②技術革新等時代の変革に沿った課題解決のための行うべき施策、の2つとなると考えている。
- ・各委員の多角的視点から議論をお願いしたい。

(5) 副委員長挨拶

- ・子を持つ母として、働く女性の立場としてからも意見を述べさせていただきながら、副委員長として委員長をサポートしていきたい。

4. 第2期土浦市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定について

【事務局説明】

【委員】

- ・今後に向けて、前提の部分である土浦市総合計画との関係性の読み込みができる新たなプランニングができるような組立てで進めて行ってほしい。

【事務局】

- ・次回の会議以降で、総合計画との関連性の部分についても説明をしていきたい。

5. 議事

(1) 第1期土浦市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」の進行管理について

【事務局説明】

【委員】

- ・資料 P.53 地方創生関係交付金事業（加速化交付金）の事業 No3「ICTなどを活用した商都復活支援事業」のKPIについて達成率が低いようだが、原因と今後の対策はどう考えているか。

【事務局】

- ・農林水産関係のブランドアップ事業とタイアップしながら計画推進しているものだが、平成29年3月時点では成果が出せていなかった。昨年度から加工品や農林水産物を土浦市ブランドとして認定する事業が進んでいるところなので、今後については、達成率は改善されると考えている。

【副委員長】

- ・資料 P.10「基本施策ごとのKPI達成状況一覧表」戦略分野Ⅲ 基本施策② 子育て関連の事業については達成率が低く、要因としては基準値からすると目標値が少し高いのではないかとと思うが、何か理由があったのか。

【事務局】 保健福祉部長

- ・目標値は確かに高いが、これは各々の個別計画から設定しているものである。個別計画の中の事業の中身の見直しも行っているところであり、例えば「すくすくルーム」の利用者数は、現在見直しにより利用者を650名と見込んでいる。今後も、適宜見直しにより実績は上がるのではないかと考えている。

【委員】

- ・資料 P.14 (4) 各戦略分野の実施状況 基本施策② 交流人口の拡大による地域経済の活性化における「観光入込客数」のKPI達成率が良いが、ここまで達成できた理由は何かあるのか。

【事務局】 都市産業部長

- ・観光入込客数にはサイクリング自転車関係等新たな観光資源による来訪者のほか、各イベントの来場者数も含まれており、イベントは天候に左右される面もあり、10万人単位で動きがあるが、その辺りが増加している要因と思われる。

(2) 第2期土浦市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定に向けた土浦市の人口動向分析・将来人口推計の素案について

【事務局説明】

【委員長】

- ・ポイントとなる部分は、資料 P.14にある総人口の長期推計で国立社会保障・人口問題研究所の推計、出生率が2035年までに2.1まで上昇したと仮定した場合の推計、出生率2.1上昇仮定推計をベースにさらに社会移動をゼロと仮定した場合の推計、いずれも第1期計画の推計値を

下回っているということ。人口の問題は、すぐには解決できない重い問題であり、解決には時間が掛かる。また、資料 P.10 にある外国人登録者数は増加傾向にあり、3,500 人強という数字は無視できない数字であり、大事なポイントだと思う。その他にも論点はあるが、大まかにはこの辺りが概要になるかと思う。何か御質問御意見あれば、お願いしたい。

【委員】

- ・資料 P.20 の分析を見ると、一層東京圏への一極集中が進んでいるという状況。人口流動を抑制できるのは、大きく分けるとソフト面とハード面。ハード面の中でも、交通インフラの影響が大きい。資料 P.7 を見ると 20～30 代、また、県内他自治体（牛久市、つくば市）への転出者が多い要因は、通えないからという部分であると思う。将来的には、P.13 を見ると土浦は指数が下降傾向に対して、牛久市・つくば市は高いところで推移しているのは、まさに交通利便性の部分がある。人口流出防止等にはスマートインターを設置するといったハード面と、若い世代に合わせた環境の変化に合わせていくソフト面の施策を、長いスパンで一体となってやっていかなければならないのかなと思う。

【事務局】

- ・TX 沿線であるつくば市、つくばみらい市、常磐線沿線ではひたち野うしくを擁する牛久市辺りは人口増加傾向、その他の地域は少なからず減少傾向を示している。
- ・ハード面に関しては、費用対効果をよく検証しなければならない。今後の第 2 期計画策定に向けては、ハードソフト両面での対策も含め、忌憚のない意見を頂きたい。

【委員】

- ・費用対効果を現状の中だけではなく、費用をこれだけ掛ければこういう策を講じられるといったプラスの効果をもたらす施策の検証も必要であると思う。

【事務局】

- ・ハード面での施策に対する試算もできると思うので、今後考えていきたい。

【委員】

- ・外国人は、特に留学生も含めて、年間 40 万人位日本へ入ってきているだろうといわれている。これから施策を考えていく中で、外国人登録者の傾向についても把握しているという状況であるので、きちんと今後の人口対策には盛り込んでいくべき。

【事務局】

- ・第 1 期計画の人口ビジョンの中では、外国人登録者については盛り込んでいなかった。今回の素案の中では盛り込んでいるので、その施策についても意見を頂ければと考えている。

【委員】

- ・戦略策定委員会へのお願いになるが、特に男女共同参画という点では、女性については啓発参加型の施策は通り越しているのでは、そういった施策は男性に参加してもらえる取組を考えてほしい。また、市から市民団体へ予算を下ろす時等には、市民が実施するのに際して裁量範囲の広い自由度の高い枠組みの施策を考えてほしい。上手にお金を使ってほしい。
- ・現状の施策・事業を見ると、「霞ヶ浦」という言葉が出てこないのは非常に残念。「霞ヶ浦」という大きな資源があるので、これを生かした様々な角度から事業を考えてほしい。

【事務局】

- ・今の委員の御意見は、資料2 P.44 にある地方創生交付金を活用した男女共同参画推進事業として、ワークライフバランスの講演会を行ったものに関するものと考えているが、今後男女共同参画に関連した事業等を実施する際には、今回の御意見を参考にさせていただきたい。
- ・霞ヶ浦は、土浦市にとって大きな資源と考えている。現在、交流人口の拡大を図る等の目的で、霞ヶ浦流域での自転車関連の施策も県と連携して始まっているところ。
第1期計画で資料2 P.8に記載のとおり、戦略分野I 基本施策② 交流人口の拡大による地域経済の活性化の中で、また、第8次総合計画のリーディングプロジェクトの中にも霞ヶ浦関連の施策を位置付けているところではあるが、「霞ヶ浦」というワードをもっと目立たせる、また、新たな施策の考案も考えていければと思う。

【委員】

- ・検討の材料となるので、他の県内自治体や都内又は千葉県柏市辺りの人口流動状況（土浦からの転出、土浦への転入等）をデータとして提供してもらえればと思う。

【事務局】

- ・第1期計画人口ビジョン P14・15 でも県内外からの人口移動動態の状況も分析していたところだが、今後、来年度4回予定している会議の中で、そういった資料については示していきたい。

【委員】

- ・地元企業と市がもっとコミュニケーションを密にして、連携して施策に取り組んでいければ、効果的だと思っている。
- ・青年会議所では、市外の方が訪れるようなイベントを実施し、今後も続けていく予定なので、そういう場で土浦市をPRできるものがなかったのが残念に思った。土浦市に住む、また、訪れる場合のメリットを、市外の方が受け取れるようなメッセージ性のあるパンフレットを各所に置いたり、配布できるようにしてほしい。

【事務局】

- ・若手主体ではあるが、青年会議所、商工会議所青年部と交流をしている話を聞いている。
- ・本市においては、シティプロモーション推進室を設置して、市のPRをしているところであるが、委員から御指摘のあったような、他市との比較により土浦市の優れている点をPRしていくような施策についても、取り組んでいければと考えている。

【委員】

- ・待機児童の問題、少子化問題にあるように、今後、ますます子どもに関わるものは重要になってくると思われるので、働きながら子どもを育てられる環境づくり、また、今年度から土浦市でも助成金事業が始まったところではあるが、保育士が少ない状況下にあることから、保育士確保のための職員の処遇改善について、引き続き考えてもらいたい。

【事務局】

- ・保育士の処遇改善については、今年度から助成金を交付する事業を開始したところではあるが、他市との保育士の確保競争になってしまうという難しい状況にもある。今後、さらに変化する状況を見据えながら事業の検証を進めたい。

【委員】

- ・保護者の方からは、色々な子育てに係る制度を利用して、安心して子育てできる環境になってきているという声も聞くので、引き続き、よろしくお願ひしたい。

【委員】

- ・人口が減少して影響が出てきているのが、労働団体に関連する中で、特に工場の操業に支障がでてくる。その辺りで、特に外国人の受入れについて考慮してもらいたい。

【委員】

- ・労働者の確保の観点ではもはや日本人男性頼みという概念はなく、女性、外国人、高齢者をいかに活用できるかになってきている。外国人労働者をより多く雇用しようという流れには間違いなくなるし、国の規制も緩和していくであろうと思われる。そこで、外国人が暮らしやすい街づくりといったソフト面での施策は、キーになってくるかと思う。

【委員】

- ・人口減少社会における抜本的な解決策はハード面の整備に頼るものが多いと思うが、本会議の資料の中のK P Iの中で産業系立地の誘導（資料2 P.9）というものがある。施策として重要な位置を占めてくるものだと思うが、達成率が低く、評価がCとなっている。この部分についてどれだけ進められるかは大きい。
- ・外国人労働者の話も出ていたが、色々な面に課題解決のための切り口はあると思う。

【委員】

- ・私立の保育環境は充実していると思うが、経済状況も含め色々な家庭の事業がある。そういう面から言うと、経済状況によっては公立幼稚園に頼る面もあると思う中、土浦で公立幼稚園が徐々に減っていくような状況は寂しい。色々なお金の使い方はあると思うが、特に子育てをしている母親たちが、自分たちは支援されていると感じられるような施策が欲しいと感じている。

【委員】

- ・商工会議所青年部では、青年会議所の方も交えて、4年ほど前から市役所の若手職員と土浦の街づくりについて意見交換をする場を設けさせてもらっている。様々な意見が出て有意義な場になっている。
- ・霞ヶ浦関連や常磐線活用促進等のイベントに参加した中でも、土浦市を知らない方がかなりいるのを感じているので、課題。常磐線利用促進についての今後の考え方も伺いたい。
- ・商工会議所でも人材不足は課題となっており、外国人の受入れについては、中小企業にとって重要な問題であるので、一緒に考えていきたい。

【事務局】

- ・外国人が住みやすい街、労働者不足、公立幼稚園の適正配置、保育士の処遇改善、霞ヶ浦に関連する施策など様々な意見が出たが、来年度第2期総合戦略の策定を進めていく過程の中で、参考とさせていただきたい。

【委員長】

- ・様々な意見が出たが、今回の会議で出た議論を含めて、来年度第2期計画を策定していきたい。
- ・限られた予算の中で、納税者が納得できるお金の使い方も大事になってくる。
- ・今後考案する施策については待っているだけでは何も変わらない、環境の変化をしかけていくことが重要。

以上をまとめとして、今回の会議を総括させていただく。

(3) その他

- ・今後の進め方及びスケジュール等について事務局より案内。

以 上